

野球のグラブやミットの開発や製造を手掛ける株式会社JUNKEI-GLOVE（三宅町上但馬・吉田貴夫代表取締役社長）は来年1月15日、新品の野球グラブがレンタルできる月額サービス「グラレント」を開始する。子どもの身体的成長やポジションの変更など、頻繁で高額になりがちな野球グラブの買い替えのリスクを抑えたい考え。吉田社長にサービスに込めた思いや今後の展開を聞いた。

Made
in
奈良

三宅町 株式会社JUNKEI-GLOVE



代表取締役社長
吉田 貴夫さん

より良いグラブをより多くの人々へ

「御社の事業内容を教えてください。」

004年に独自ブランドの展開を開始されました。

野球グラブやミットを自社で製造し、小売店に卸しています。グラブメーカーといっても、大手はどこか別のところでグラブを作ってもらい、そこへ自社のラベルを付けて販売するOEMの形が多いのですが、われわれは自社で製造し、自社のラベルを付けて販売しています。

「以前は大手スポーツメーカーのOEM商品を供給されていましたが、平成16（2004）年に独自ブランドの展開を開始されました。」

独自ブランドへ展開するきっかけとなったのは、卸問屋から求められたグラブと、われわれが目指していたグラブに相違があったことです。それまで、卸問屋からは「お店に並べられたときに商品の状態がピーク（最高）になるような作り方をしたい」と言われていました。いかにスポーツ店にグラブを買ってもらうかが重要視されており、たとえばポケット（ボールを受ける

OEMから独自ブランド化する人のためのものづくり

面のくぼみ）を作るための「ゆとり」をグラブ背面に施したとしても、それを「たるみ」とみなされ、却下されたりしました。ただ、この「ゆとり」の部分など、われわれはグラブを70年以上前から作っていく中で「使う人のためにどうしたらいいか」を常に考えているだけに、どうしても卸問屋が求める「お店に並べるときがピーク」という考えに疑問を持っていました。ディスプレイに飾るものではなく、利用者がグラブを手にし、使っていくことで革が伸び、本当の

「独自展開に対する周囲からの反響は。」

小売店に「独自展開を始めます」と何件か回っていく中で「ジュンケイさんのところがOEMを担っているグラブは品質が良いから、仕入れていたよ」という声をいただきました。当時、グラブにメーカーのラベルはもちろん付いて

いますが、OEMの製造元の情報は公にはなっていないのでした。にもかかわらず、われわれの存在であったり、技術を知ってもらっているということに驚きつつ、自信につなげることができました。

「今回始められる「グラレント」の着想に至った経緯を教えてください。」

物価も上がり、身の回りのあらゆるものが値上げされている中で、「用具代が高い」ことを理由に野球を続けることができなかったり、そもそも親がさせなかったりするケースが増えていきます。この状況を何とかできないかと考え、普段の事業をしながら助けられる仕組みを模索しました。そうした中、近年はサブスクリプション（定額料金）でのサービスの利用が広まっていることもあり、1年間という最低期間は設けていますが、月額制にして、年間2万6500円で新品のグラブを使用することができ、1年後は返却できるとなれば、かなりの出費を抑えられると考えました。



⑤グラブに使う牛革。いろいろな色に染め上げられた大きな1枚の牛革から、グラブに適した良い部分だけを選別して使用する⑥社内にあるサンプルルームには、さまざまなモデルのグラブが並べられている

最初に野球のセットをそろえるのに10万～15万円するといわれており、その大半はグラブ代が占めています。そのグラブにかける値段を落とすことで、野球をやる、野球を続けるきっかけになればと思います。



「グラレント」の特設サイト(右)と、貸し出しを予定している「アラミドモデル」

月額レンタル「グラレント」来月15日始動 高額になりがちな買い替えリスクを軽減

子どもの身体的成長やポジションの変更に伴うグラブの買い替えもつきものです。

子どもの成長期において、体格や手のサイズが変わると、その都度、野球グラブの買い替えも必要になってきます。また、軟式から硬式へ移行したり、複数ポジションの掛け持ちやポジション変更でグラブを買い替えたいとなっても、グラブ自体が高価なため、なかなか新調することができないと思います。

そういった人たちに對しても、月額のサービスなら気軽に試すことができるので、自分に合ったグラブを探しやすいかもしれません。

「ラインナップされている「アラミドモデル」について教えてください。」

長年、グラブ製造と共にグラブの修理も行っていますが、修理の依頼が多いのは「革の破れ、擦り切れ」「ヒモ切れ」「結合糸のほつれ」の3つです。このうち、グラブ内部の結合糸のほつれだけは、これまで有効な対策がありませんでした。そこで、防弾チョッキや

消防服などにも使用されるアラミド繊維という強力な糸を採用し、その繊維をグラブ用に適した織度を開発したものが「アラミドモデル」です。

修理が多い箇所をあらかじめ対策しておくことで、より長く使うことができます。

「70年以上続く伝統を守りながらも、新たなサービスを生むために意識していることは。」

初代のころから続く「良いものを作る」という信念

を貫きながら、時代のニーズに合わせた展開をするのを心がけております。OEMとして求められていたことも、ある種の時代のニーズだと思えますし、物価高の今だからこそ求められていることもありま

す。同じものを売り続けていく上で、時代の流れに合わせながら方法を模索する。今回のグラレントも、われわれの信念をそのままに、利用者に届ける方法を変化させたという形ですが、こうした変化を今後も続けていきたいです。

「今後の展望をお願いします。」

現在、認定中古グラブ「OLD NEW」(仮称)というサービスを検討しております。これは、グラレントで戻ってきたグラブの裏革を交換し、縫製やグリス入れ、返し、革紐通しといったオーバーホール修理を行い、新たに生まれ変わったグラブにして展開するというものです。

自社で一貫して製造する当社だからこそできる技であり、これによりグラブを貸して終わりではなく、その後も再利用することができます。

今後も「良いものを作る」という信念を貫き、「より良いグローブ」をもっと多くの人に知ってもらえるアプローチをしていきたいです。



グラブ内部の「結合糸」をすべてアラミド繊維を使用した糸を使用することで、修理要因が激減



○社名＝株式会社JUNKEI-GLOVE
○所在地＝三宅町上但馬123
○電話番号＝0745(56)2002
○ファクス＝0745(57)2132
○創業＝昭和21(1946)年
○資本金＝1000万円
○在職人数＝2人
○事業内容＝野球グラブ・ミットの製造、開発



<https://junkei-glove.co.jp/>

奈良県信用金庫協会



奈良信用金庫

理事長 田村 好美

本店 大和郡山市南郡山町529の6
TEL (0743) 54-3111(代)



大和信用金庫

理事長 中村 正徳

本店 桜井市桜井281の11
TEL (0744) 42-9001(代)



奈良中央信用金庫

理事長 高田 知彦

本店 磯城郡田原本町132の10
TEL (0744) 33-3311(代)